

新庄最上定住自立圏 共生ビジョン (第2次)

(案)

令和2年12月

新庄市・金山町・最上町・舟形町
真室川町・大蔵村・鮭川村・戸沢村

目 次

1	定住自立圏及び市町村の名称	1
	（１）定住自立圏の名称	
	（２）圏域を形成する市町村の名称	
2	定住自立圏共生ビジョン策定の目的	1
	（１）共生ビジョン策定の趣旨	
	（２）これまでの取組	
	（３）共生ビジョンの期間	
3	定住自立圏の将来像	
	（１）圏域の状況	2
	（２）圏域の将来像	8
	（３）市町村の役割分担	9
4	新庄最上定住自立圏形成協定項目一覧表	10
5	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	
	（１）生活機能の強化に係る政策分野	
	① 医療	11
	② 福祉	13
	③ 教育	17
	④ 産業振興	20
	⑤ 生活・環境	25
	（２）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
	① 地域公共交通	31
	② 道路等の交通インフラの整備	33
	③ 地域内外の住民との交流・移住促進	34
	（３）圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
	① 圏域内市町村職員の交流等	36
	② 情報の共有・発信	37
6	共生ビジョン事業一覧	38

1 定住自立圏及び市町村の名称

(1) 定住自立圏の名称

新庄最上定住自立圏

(2) 圏域を形成する市町村（構成市町村）の名称

新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村

2 定住自立圏共生ビジョン策定の目的

(1) 共生ビジョン策定の趣旨

本定住自立圏共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年総行応第39号総務事務次官通知）に基づく中心市宣言を行った新庄市とそれに賛同した金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村とが定住自立圏形成協定を締結したことにより形成された「新庄最上定住自立圏」において、人口定住のために必要な生活機能を確保し、地域の活性化を図るため、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにするものである。

(2) これまでの取組

①平成27年2月13日

新庄市で中心市宣言を行った。

②平成27年6月25日

新庄市と金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村とにおいて、新庄最上定住自立圏形成協定を締結した。

③平成28年3月22日

新庄市と真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村とにおいて、協定の一部を変更する協定を締結した。

④平成28年3月 新庄最上定住自立圏共生ビジョンの策定

⑤平成28年12月22日

新庄市と金山町、最上町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村とにおいて、協定の一部を変更する協定を締結した。

⑥平成29年3月 新庄最上定住自立圏共生ビジョンの第1回変更

⑦平成30年3月 新庄最上定住自立圏共生ビジョンの第2回変更

⑧令和2年9月24日

新庄市と金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村とにおいて、協定の一部を変更する協定を締結した。

⑨令和3年3月 第2次新庄最上定住自立圏共生ビジョンの策定

(3) 共生ビジョンの期間

本ビジョンで示す将来像の実現に向けた具体的な取組の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行うものとする。

3 定住自立圏の将来像

(1) 圏域の状況

本圏域は、山形県北東の内陸部に位置し、北は秋田県、東は宮城県に接する地域である。圏域を構成する8市町村の配置については、新庄市が圏域の中央に位置し、7町村が放射状に広がっている。圏域の西部には出羽丘陵、東部には奥羽山脈、北部には加無山県立自然公園があり、南部から西部にかけて日本三大急流の一つ山形県の母なる川「最上川」が流れ、新庄盆地を中心にほぼ全域に水田地帯が広がる、豊かな自然に育まれた地域である。

今日のような生活圏域が形成されたのは、江戸時代新庄藩政下となる。明治22年の町村制施行により、圏域内の町村が誕生し、昭和24年の新庄市の市制施行、昭和29年以降の町村合併により現在のような1市4町3村が形成された。

圏域内の8市町村では、これまでも「最上広域市町村圏事務組合」を設置し、消防、ごみ処理などの事務を共同で行うなど、広域的課題に協力して取り組んできた。交通の利便性の向上に伴い、圏域内での住民の交流は活発化しており、通勤・通学、買物、医療など日常生活の各分野において、行政区域を越えた生活圏として形成されている。

①構成市町村の概要

	新庄市 人口：35,004 人 面積：222.85 km²		金山町 人口：5,225 人 面積：161.67 km²
	新庄市は、山形県の北東部、最上地域のほぼ中央部に位置し、奥羽山脈と出羽山地の山々に囲まれた新庄盆地にある城下町として栄えてきた歴史がある。 国道13号と国道47号、JR奥羽本線と陸羽東西線の道路・鉄道がそれぞれ交差しており、古くからの交通の要衝として発展してきた。平成11年には山形新幹線が延伸し、また、平成26年には東北中央自動車道の一部となる「新庄尾花沢新庄道路」が全面開通となるなど、高速交通網の整備が進められている。 毎年8月24日から26日にかけて開催される「新庄まつり」は、平成21年に国重要無形民俗文化財に指定、平成28年にはユネスコ無形文化遺産へ登録された。 豊かな自然環境、歴史・文化とこれまで培ってきた都市基盤を土台に「住みよさ」をかたちに「新庄市」を市の将来像とし、市民一人ひとりが心の豊かさを実感できるまちを目指している。		金山町は、大正14年1月1日に町制を施行して以来、合併することなく令和2年1月1日に95周年を迎えている。古来より羽州街道に沿っており、金山宿と中田宿が置かれ、宿場町として栄えた町である。 昭和57年に全国に先駆けて「金山町公文書公開条例」を制定し、町民に開かれた行政運営にいち早く取り組んでいる。また、昭和61年には美しい景観の保持・地域産業の活性化を目的とした「金山町風景と調和する街並み景観条例」を制定し、「街並みづくり100年運動」に取り組んでいる。 先人が築いてきた歴史・文化のなかで、次代を担う子どもたちに「美しい自然・清い心の町 金山」を恒久的テーマとして継承し、「住んでよし、訪ねてよし」の町づくりのため、①「少子高齢化、人口減少、健康長寿対策の推進」、②町財政の健全化、安定対策」、③「防災・減災対策」、④「未来につながる産業振興対策」、⑤「美しい景観の保全対策」、⑥「多彩な人材の活用と育成」を大きな柱として掲げ、町制100周年に向けて歩みを進めている。
	最上町 人口：8,076 人 面積：330.37 km²		舟形町 人口：5,143 人 面積：119.04 km²
	最上町は、山形県の北東部に位置し、宮城県大崎市と隣接し、奥羽山脈に囲まれる農業を基幹産業とする温泉に恵まれた観光の町である。 高齢化社会の到来を前に、医療福祉の施設や体制基盤作りをウェルネスタウン構想をもって具現化し、現在はそれら施設に対し、木質バイオマス利用の地域熱供給を行い、環境配慮型の社会を目指している。 平成27年10月には、町の幅広いバイオマス活用の構想が認められ、「バイオマス産業都市」に選定された。 公共施設から、民間住宅にまで地域エネルギー供給を拡大しながら、持続可能な社会を実現し、農観商工連携による産業の振興にも結び付けるものである。 豊富な森林資源をはじめ、地域資源を有効に活用しながら教育文化、産業振興、交流人口拡大につなげ、「人が元氣 地域が元氣 産業が元氣 〜キラリ輝く田園空間博物館の創造」の将来像に向け、住民一人ひとりが個性と協調性のある生き方を楽しみながら住み続けられるまちづくりに取り組んでいる。		舟形町は、山形県の東北部、最上地域の南端に位置し、南北方向に最上川、東西方向に最上小国川が流れる自然豊かで風光明媚な農業を中心とする町である。 交通面では南北に国道13号線がはしり、自動車専用道路の尾花沢新庄道路には舟形ICができるなど交通の便に恵まれている。情報通信面では光ファイバー網が町内全域に整備されており情報化へも対応している。 町の中を流れる最上小国川は、山形県を代表する鮎釣り河川で、鮎釣りファンの間では全国区の人気河川である。また、通称「縄文の女神」と呼ばれる日本最大級（高さ45センチ）の縄文土偶は、西ノ前遺跡から出土した縄文時代中期土偶で、平成24年9月に土偶としては全国で4番目の国宝に指定された。 第7次舟形町総合発展計画では、「まちの将来像」として、「わくわく未来ふながた」を掲げ、社会経済情勢の変化に対応し、持続的なまちづくりを進めるとともに、子どもから大人まで「住んでいる人が誇れるまちづくり」に取り組んでいる。

	真室川町 人口：7,336 人 面積：374.22 km ²		大蔵村 人口：3,053 人 面積：211.63 km ²
真室川町は、山形県の最北端に位置し、北は秋田県、西は庄内地方と隣接しており、町の西・北・東は急峻な山地で、町土全体の8割以上が山林で占められ、古くから林業のまちとして栄えてきた。 緑豊かな山々や清らかな河川等を背景に伝統文化が育まれ、全国的な民謡「真室川音頭」や「あがらしやれ」発祥の地として知られている。 基幹産業は農業で、稲作経営を中心に、ニラ、ネギ、うりなどの園芸作物の生産拡大を進めながら、農産物のブランド化や6次産業化の推進などに取り組んでいる。 先人が育んできた歴史的・文化的資源の保全・継承・発展の取り組みとともに、変化の著しい社会・経済情勢に柔軟に対応し100年後も持続可能な町、誰もがこの地域で暮らすことに生きがいや誇りを持ち続けられる町を目指した取り組みを推進している。		大蔵村は、山形県北東部、最上地域の南部に位置し、総面積の85%を山林が占めている、美しい自然にあふれた村である。 霊峰月山と葉山の懷に抱かれ、それらの山々を源とする銅山川と赤松川が村を貫き、日本三大急流の一つ最上川に合流し、村の中心部、清水地区の美しい田園地帯を悠々と流れている。 村の基幹産業は農業と観光で、農業の中心は稲作だが、最近ではトマトの生産も盛んで、県内でも有数の生産量を誇っている。また1,200年以上の歴史がある肘折温泉郷は、鄙びた湯治場の風情を残しており、月山の麓に位置しているため、全国有数の豪雪地帯となっている。 「おかえり、なりわい灯す きよなる里」を村の将来像として、多様性を尊重し、新しい時代にふさわしい自然や生き方に結びついた生業、そして日本一美しく輝き続けることを目指し、村づくりを進めている。	
	鮭川村 人口：3,933 人 面積：122.14 km ²		戸沢村 人口：4,276 人 面積：261.31 km ²
鮭川村は、山形県の北部、最上地域の北西に位置し奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた盆地で形成され、村中央部を南下する鮭川やその支流に沿って農用地、居住地がひらけている。東部は比較的平坦地で耕地が多く、西部は出羽丘陵とすそ野にあたり豊かな森林地帯となっている。 農業を基幹産業とし、稲作のほか、きのこの生産が盛んで、県内生産量の約6割を占めている。近年ではバラ、リンドウなどの花卉栽培などにも取り組んでいる。 村の豊かな自然と先人によって受け継がれてきた歴史と文化を更に発展させ、次代に引き継ぐことのできる村、安全で安心して一人ひとりが幸せを実感して暮らせる村づくりのため、「明るく豊かな心でいきいき暮らし」、「豊かな自然の中で育む人」、「きずなで築く魅力あるむら」の3つを基本目標に定め、村民と行政の信頼関係をより強固なものにしながら、人と自然と文化が輝くむらづくりに取り組んでいる。		戸沢村は山形県の北部、最上地方の南西部に位置し、南北に貫く出羽丘陵の山々と、新庄盆地縁辺の平坦地からなり、村のほぼ中央部を流れる「最上川」と寄り添う、舟運文化のもと村を発展させてきた歴史がある。 村内には、樹齢千年を超える土湯杉の群生地「幻想の森」や、幻の月山登拝道の道中に位置する「浄の滝」など、ありのままの自然が残されており、最上川の自然を生かした「最上川舟下り」には、国内外から多くの観光客が訪れ、一大産業となっている。 明治20年頃から始まったとされる、「古口白山神社祭典」や、月山登拝道の登山口として発展した山岳宗教文化など次代を越えて脈々と受け継がれている。 「自立・活力・協働による元気な村の創造」をスローガンに掲げ、村民一人ひとりが担うべき役割を認識し、積極的に地域課題の解決を図り、将来にわたり、みんなが幸せを実感できる村を目指し、地域と行政が一体となった村づくりを進めている。	

※人口：「令和元年山形県の人口と世帯数」より 面積：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」より

②圏域の人口の推移と将来推計

【総人口の推移と将来推計】

(単位：人、下段は増減率)

	実績						推計				
	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)
新庄市	43,125	42,896	42,151	40,717	38,850	36,894	34,696	32,394	30,116	27,797	25,416
		-0.5%	-1.7%	-3.4%	-4.6%	-5.0%	-6.0%	-6.6%	-7.0%	-7.7%	-8.6%
金山町	7,886	7,665	7,381	6,949	6,365	5,829	5,293	4,814	4,373	3,960	3,549
		-2.8%	-3.7%	-5.9%	-8.4%	-8.4%	-9.2%	-9.0%	-9.2%	-9.4%	-10.4%
最上町	12,541	12,174	11,483	10,761	9,847	8,902	8,018	7,161	6,354	5,584	4,838
		-2.9%	-5.7%	-6.3%	-8.5%	-9.6%	-9.9%	-10.7%	-11.3%	-12.1%	-13.4%
舟形町	7,806	7,546	6,996	6,671	6,164	5,631	5,126	4,607	4,133	3,696	3,253
		-3.3%	-7.3%	-4.6%	-7.6%	-8.6%	-9.0%	-10.1%	-10.3%	-10.6%	-12.0%
真室川町	12,230	11,571	10,592	10,054	9,165	8,137	7,160	6,250	5,421	4,669	3,951
		-5.4%	-8.5%	-5.1%	-8.8%	-11.2%	-12.0%	-12.7%	-13.3%	-13.9%	-15.4%
大蔵村	4,982	4,863	4,528	4,226	3,762	3,412	3,060	2,721	2,392	2,093	1,813
		-2.4%	-6.9%	-6.7%	-11.0%	-9.3%	-10.3%	-11.1%	-12.1%	-12.5%	-13.4%
鮭川村	6,396	6,092	5,829	5,447	4,862	4,317	3,797	3,339	2,920	2,515	2,124
		-4.8%	-4.3%	-6.6%	-10.7%	-11.2%	-12.0%	-12.1%	-12.5%	-13.9%	-15.5%
戸沢村	7,248	6,959	6,450	5,915	5,304	4,773	4,251	3,771	3,328	2,915	2,509
		-4.0%	-7.3%	-8.3%	-10.3%	-10.0%	-10.9%	-11.3%	-11.7%	-12.4%	-13.9%
圏域の合計	102,214	99,766	95,410	90,740	84,319	77,895	71,401	65,057	59,037	53,229	47,453
		-2.4%	-4.4%	-4.9%	-7.1%	-7.6%	-8.3%	-8.9%	-9.3%	-9.8%	-10.9%
山形県人口	1,258,390	1,256,958	1,244,147	1,216,181	1,168,924	1,123,891	1,072,473	1,015,910	957,314	897,075	833,844
圏域の割合	8.1%	7.9%	7.7%	7.5%	7.2%	6.9%	6.7%	6.4%	6.2%	5.9%	5.7%

資料：実績は、「国勢調査」より

推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」（平成30年3月推計）より

【年齢別人口割合の推移

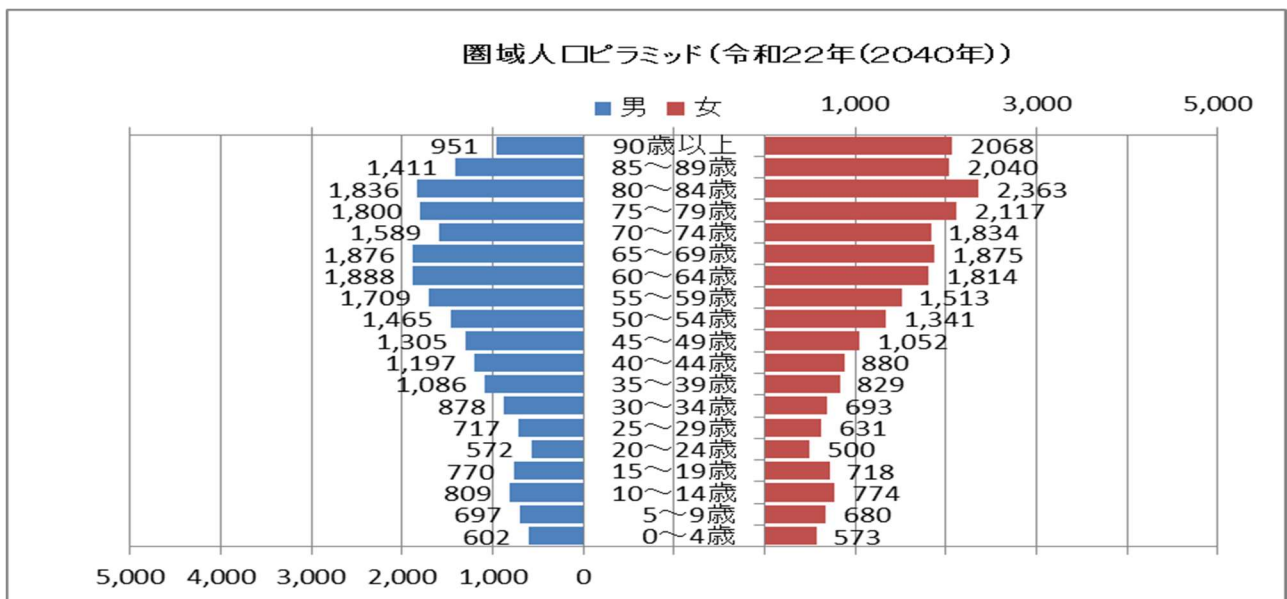
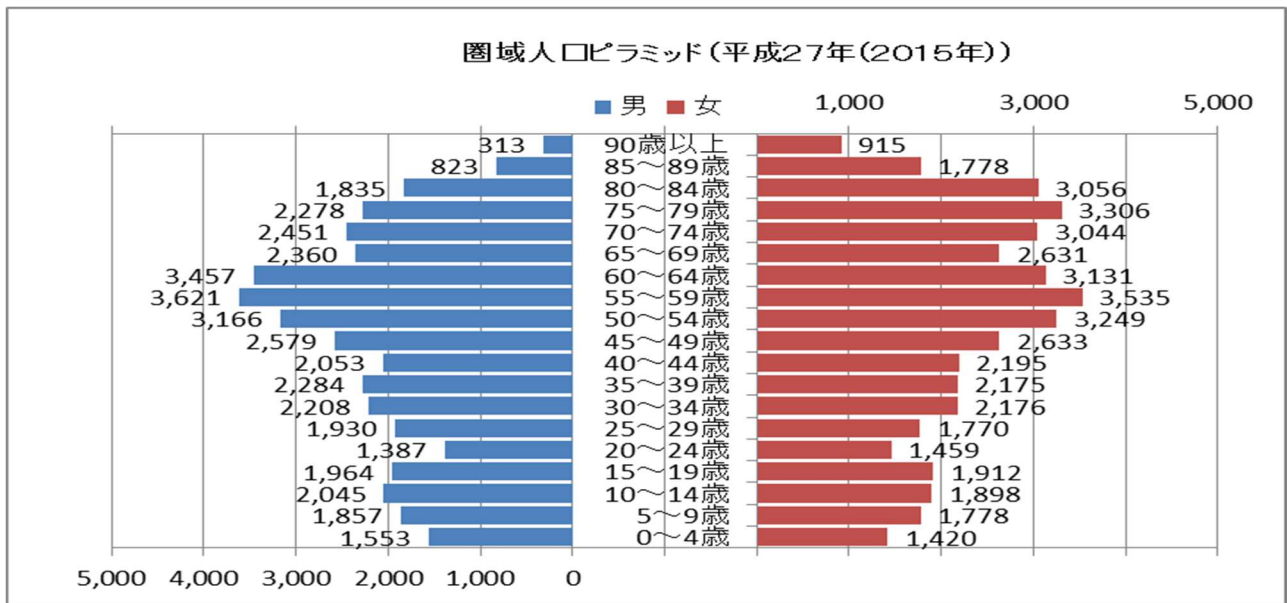
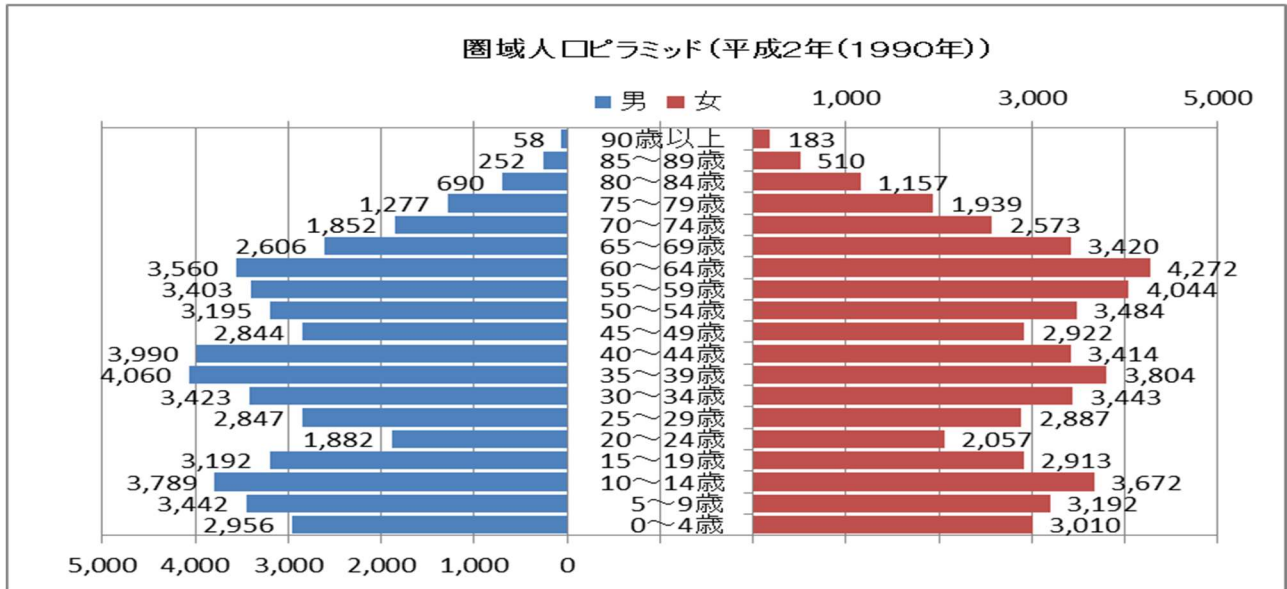
上段は年少人口（15歳未満）、下段は高齢人口（65歳以上）】

	実績						推計				
	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)
新庄市	19.5%	17.5%	16.2%	15.0%	13.9%	12.6%	11.4%	10.7%	10.2%	9.7%	9.3%
	14.4%	18.2%	21.5%	24.3%	26.7%	30.0%	33.0%	35.7%	37.7%	39.1%	41.6%
金山町	20.7%	18.3%	16.4%	14.1%	12.9%	12.1%	11.3%	10.9%	10.7%	10.5%	10.4%
	16.9%	21.5%	25.1%	27.6%	29.8%	32.2%	36.0%	39.9%	42.1%	41.8%	42.2%
最上町	20.0%	17.6%	15.1%	13.3%	11.8%	11.1%	10.4%	9.9%	9.2%	8.5%	7.9%
	17.9%	22.4%	26.6%	29.9%	31.4%	34.6%	40.9%	46.0%	49.2%	51.2%	53.1%
舟形町	20.1%	17.6%	14.4%	11.6%	10.7%	10.6%	10.1%	9.2%	8.7%	8.0%	7.4%
	17.2%	23.0%	27.6%	31.8%	33.4%	36.4%	41.6%	46.5%	49.0%	50.1%	51.9%
真室川町	18.8%	16.7%	14.7%	12.4%	10.3%	10.3%	9.9%	9.7%	9.3%	8.7%	8.1%
	17.3%	22.3%	26.9%	30.5%	32.5%	36.8%	41.8%	45.9%	48.6%	50.6%	53.0%
大蔵村	19.7%	18.2%	15.8%	13.3%	11.7%	12.2%	11.3%	10.7%	9.3%	8.9%	8.2%
	17.8%	23.1%	27.0%	30.0%	32.2%	34.3%	39.0%	43.7%	47.0%	48.0%	48.6%
鮭川村	19.1%	17.4%	15.2%	13.4%	11.6%	10.2%	9.1%	9.1%	8.4%	7.6%	7.0%
	17.4%	22.4%	26.6%	29.9%	31.6%	35.6%	40.7%	46.3%	48.9%	51.1%	52.6%
戸沢村	19.7%	17.4%	15.0%	13.1%	10.5%	9.5%	8.5%	7.8%	7.2%	6.6%	6.0%
	17.7%	22.0%	27.0%	30.1%	31.8%	35.2%	40.7%	45.4%	49.7%	51.5%	53.0%
圏域の合計	19.6%	17.5%	15.6%	13.9%	12.5%	11.7%	10.7%	10.1%	9.6%	9.1%	8.7%
	16.2%	20.6%	24.4%	27.4%	29.4%	32.7%	36.8%	40.3%	42.6%	43.9%	45.9%

資料：実績は「国勢調査」より

推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来人口推計」（平成30年3月推計）より

【圏域人口ピラミッド】



③中心市と近隣町村の結びつき

【昼夜間人口比率】

(単位:人)

	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	計
人口	36,894	5,829	8,902	5,631	8,137	3,412	4,317	4,773	77,895
昼間人口	40,862	4,740	8,054	4,871	7,117	2,801	3,827	3,898	76,170
昼夜間人口比率	110.8	81.3	90.5	86.5	87.5	82.1	88.6	81.7	97.8

資料:平成27年「国勢調査」より算出

【圏域内の通勤通学者の動向】

(単位:人、下段は通勤通学割合)

	新庄市へ	金山町へ	最上町へ	舟形町へ	真室川町へ	大蔵村へ	鮭川村へ	戸沢村へ	通勤通学者 の総数	圏域内の 他市町村へ
新庄市	12,972	202	299	391	371	157	299	230	16,580	11.8%
	78.2%	1.2%	1.8%	2.4%	2.2%	0.9%	1.8%	1.4%		
金山町	1,003	1,122	13	18	142	14	40	10	2,594	47.8%
	38.7%	43.3%	0.5%	0.7%	5.5%	0.5%	1.5%	0.4%		
最上町	754	5	2,396	87	13	7	10	6	3,766	23.4%
	20.0%	0.1%	63.6%	2.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%		
舟形町	804	6	66	856	21	21	16	13	2,306	41.1%
	34.9%	0.3%	2.9%	37.1%	0.9%	0.9%	0.7%	0.6%		
真室川町	1,191	111	16	19	1,632	8	158	24	3,402	44.9%
	35.0%	3.3%	0.5%	0.6%	48.0%	0.2%	4.6%	0.7%		
大蔵村	632	5	13	47	15	510	22	19	1,404	53.6%
	45.0%	0.4%	0.9%	3.3%	1.1%	36.3%	1.6%	1.4%		
鮭川村	770	24	18	21	104	20	680	27	1,813	54.3%
	42.5%	1.3%	1.0%	1.2%	5.7%	1.1%	37.5%	1.5%		
戸沢村	877	11	9	36	36	32	57	742	2,019	52.4%
	43.4%	0.5%	0.4%	1.8%	1.8%	1.6%	2.8%	36.8%		

資料:平成27年「国勢調査」より算出

【買い物における市町村間流動(商品総合)】

(単位:%)

行先 居住地	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	その他	合計
新庄市	82.4	0.3	0.1	0.0	0.5		0.0	0.1	16.6	100.0
金山町	58.6	16.3			8.0				17.1	100.0
最上町	28.6		53.5						17.9	100.0
舟形町	63.4		0.9	8.0	0.4			0.0	27.3	100.0
真室川町	37.9	0.1	0.2	0.5	46.1	0.9	1.2	0.0	13.1	100.0
大蔵村	75.8			0.2	0.2	7.5	0.2	0.7	15.4	100.0
鮭川村	63.7				15.6	0.0	3.8		16.9	100.0
戸沢村	69.9		0.2		0.2		0.3	8.8	20.6	100.0

資料:平成30年度山形県買物動向調査より

【県立新庄病院の利用状況(平成30年度)】

(単位:人、下段は比率)

	居住地									合計
	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	その他	
入院患者数	47,528	7,343	8,354	7,660	8,456	4,320	5,940	8,119	6,815	104,535
	45.5%	7.0%	8.0%	7.3%	8.1%	4.1%	5.7%	7.8%	6.5%	100.0%
外来患者数	95,343	13,154	13,761	13,181	14,364	6,133	9,806	10,959	8,742	185,443
	51.4%	7.1%	7.4%	7.1%	7.7%	3.3%	5.3%	5.9%	4.7%	100.0%

資料:山形県立新庄病院概要より

(2) 圏域の将来像

我が国の人口は、今後、急速に減少するとの見通しが出されている。都市圏においても人口減少が見込まれているが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子高齢化が見込まれている。このような状況を踏まえ、地方における住民の暮らしを守るとともに、地方からの人口流出を食い止め、地方への人の流れを創出することが求められている。

国では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、東京一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した地域課題の解決の視点から、人口減少の克服・地方創生に取り組んでいる。全国の都道府県、市町村においても、同様に人口減少対策・地域活性化に向けた動きが加速している。

本圏域の人口に目を向けると、平成25年（2013年）3月における国立社会保障・人口問題研究所の平成27年（2015年）の推計人口では、圏域全体で、78,381人であったものが、平成27年（2015年）10月の国勢調査による実績値では77,895人と推計値よりも486人（0.62%）減少した。さらに、令和22年（2040年）の推計値においては47,453人と、平成27年（2015年）10月の国勢調査よりも約40%人口が減少するとされている。このように、今後、少子高齢化が著しく進行し、圏域における生活機能を維持することが厳しくなると予想される。

このような情勢の中、本圏域が将来にわたり、持続可能な地域であり続けるためには、各市町村の自立性を尊重しながらも、人口減少の抑制、地域の活性化に向けて連携していく必要がある。このため、新庄市と金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村とは、「新庄最上定住自立圏」を形成し、圏域に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らすことができる圏域づくりに取り組むこととした。定住自立圏構想への取り組みには、市町村の結びつきを強め、事業の効果・効率性を高めることや、単独市町村では実施できない取組への推進が期待されている。

具体的には、本圏域での暮らしの安定のためには、安定した職場を確保することが重要であり、全ての取り組みが地域での雇用につながるものである必要がある。そして、これからの少子高齢化に向け、保健医療における安心感を高めることが重要であり、その充実が求められている。また、圏域の将来を支える人材の確保のため、子育てしやすい環境の整備や学力向上への取り組み、各分野で活躍できる人材の育成が求められている。さらには、一つの生活圈として活動するための利便性の向上、地域内外の往来を活発化させるためにも、多様な交通手段の確保は欠かせないものとなる。

本圏域は、豊かな自然に育まれた、心豊かに安心して暮らせる地域である。この地域の特色を最大限に活かし、地域の課題を解決するとともに、それぞれの市町村が持つ原石を集め、磨き輝かせ、安心して暮らせる魅力ある圏域を目指すものである。

なお、令和２２年（２０４０年）における本圏域の目標人口については、新庄最上定住自立圏構想の取組により、国立社会保障・人口問題研究所における将来推計人口を上回ることを目標とする。

（３）市町村の役割分担

中心市である新庄市は、圏域全体を視野に入れ、定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

連携する金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村は、生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

4 新庄最上定住自立圏形成協定項目一覧表

政策分野	分類	連携する取組項目		新庄市との協定締結						
				金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村
1. 生活機能の強化	1. 医療	1	地域医療体制の充実	○	○	○	○	○	○	○
		2	軽症救急患者の利用促進と適正受診の勧奨	○	○	○	○	○	○	○
	2. 福祉	3	認可外保育施設への支援	○	○	○	○	○	○	○
		4	地域子育て支援センターの広域利用	○	○	○	○	○	○	○
		5	子どもの遊び場の確保	○	○	○	○	○	○	○
		6	地域子ども・子育て支援	○	○	○	○	○	○	○
	3. 教育	7	教育関係者に対する合同研修	○	○	○	○	○	○	○
		8	文化・芸術鑑賞等の機会の提供	○	—	○	—	○	○	○
	4. 産業振興	9	企業誘致	○	○	○	○	○	○	○
		10	広域観光	○	○	○	○	○	○	○
		11	6次産業化の推進	○	○	○	○	○	○	○
		12	特産品を活用した「食」による地域活性化	○	○	○	○	○	○	○
	5. 生活・環境	13	斎場施設の共同管理・相互利用	○	○	○	○	○	○	○
		14	ごみ減量化・再資源化の推進	○	○	○	○	○	○	○
		15	下水道施設の共同管理	○	○	○	○	○	—	○
		16	水道事業の広域連携	○	○	○	○	○	○	○
2. 結びつきやネットワークの強化	1. 地域公共交通	17	コミュニティバス等の運行	—	—	—	—	○	○	—
	2. 道路等の交通インフラの整備	18	道路の除排雪	—	—	—	—	○	—	—
	3. 地域内外の住民との交流・移住促進	19	結婚活動支援	○	○	○	○	○	○	○
		20	交流の促進	○	○	○	○	○	○	○
3. 圏域マネジメント能力の強化	1. 圏域内市町村職員の交流等	21	職員合同研修	○	○	○	○	○	○	○
	2. 情報の共有・発信	22	圏域住民への情報の提供	○	○	○	○	○	○	○
連携取組項目数				20	19	20	19	22	20	20

5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

ア 地域医療体制の充実

形成協定の内容

取組の内容	圏域内住民の安全・安心な生活を確保するため、かかりつけ医の普及、救急医療体制の整備、医療従事者の確保等、地域医療体制の充実に向けた取り組みを推進する。
甲（新庄市）の役割	関係機関との調整を行うとともに、乙と連携し、地域医療体制の充実に向けた取り組みを推進する。
乙（連携町村）の役割	甲と連携し、地域医療体制の充実に向けた取り組みを推進する。

具体的な連携事業

事業名	最上地域保健医療対策事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容（連携内容）	関係機関を含めた最上地域保健医療対策協議会を組織し、地域の医療体制充実のため、医学生研修会、救急医療講習会、病院連携懇談会などの事業を連携して実施する。						
期待される効果	地域医療体制に関する総合的かつ効果的な対策を組織的に推進することにより、圏域の住民の安全・安心な生活が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	医療従事者確保対策						
	かかりつけ医の普及						
	救急医療体制の整備						
事業費見込 (千円)	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	
	新 庄 市	608	608	608	608	608	608
	金 山 町	109	109	109	109	109	109
	最 上 町	126	126	126	126	126	126
	舟 形 町	108	108	108	108	108	108
	真 室 川 町	121	121	121	121	121	121
	大 蔵 村	84	84	84	84	84	84
	鮭 川 村	94	94	94	94	94	94
	戸 沢 村	100	100	100	100	100	100
活用を想定する補助制度等	山形県地域救急医療体制整備推進事業費補助金						
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連携に必要な手続き	・最上地域保健医療対策協議会の組織化（規約） ・関係団体との調整 ・費用負担の協議						
役割分担の考え方	・新庄市は、協議会の事務局を担い、関係機関との調整を行う。 ・各市町村は、必要な経費の負担をする。						
目標指標	指標名	説明			基準値	目標値	
	年間事業開催数（回）	委員会、幹事会を除く		年度	R2	R7	
				実績	36	36	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

形成協定の内容

具体的な連携事業

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

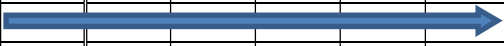
② 福祉

ア 認可外保育施設への支援

形成協定の内容

取組の内容	子どもの健やかな育ちのため、認可外保育施設の相互利用を図るとともに、安定経営に向けた取り組みを行う。
甲（新庄市）の役割	乙の区域に所在する認可外保育施設において、甲の住民が保育を受けた場合は、甲が相応の運営費の一部を支援する。
乙（連携町村）の役割	甲の区域に所在する認可外保育施設において、乙の住民が保育を受けた場合は、乙が相応の運営費の一部を支援する。

具体的な連携事業

事業名	認可外保育施設すこやか保育事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容（連携内容）	認可外保育施設が実施する保育について、新庄市と各町村が利用者に応じて相互に運営費の一部を支援する。						
期待される効果	認可外保育施設の経営安定化を図ることによって、圏域全体の子育て支援環境の充実が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	事業実施						
事業費見込（千円）	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
	8,639	8,639	8,639	8,639	8,639	8,639	
	新庄市	7,881	7,881	7,881	7,881	7,881	7,881
	金山町	432	432	432	432	432	432
	最上町						
	舟形町						
	真室川町	288	288	288	288	288	288
	大蔵村	36	36	36	36	36	36
	鮭川村	1	1	1	1	1	1
	戸沢村	1	1	1	1	1	1
活用を想定する補助制度等	・山形県認可外保育施設すこやか保育事業費補助金（県1/2）						
実施方法	☒ 中心市が主体となり実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連携に必要な手続き	特になし。なお、各市町村間での協定書については、平成23年度に締結済みで毎年自動更新となっている。						
役割分担の考え方	・各市町村は、相互に運営費負担金の支払いを行う。						
目標指標	指標名	説明		基準値	目標値		
	圏域内の待機児童数（人）	毎年4月1日時点	年度	R2	R7		
			実績	0	0		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

イ 地域子育て支援センターの広域利用

形成協定の内容

取組の内容	子育て環境の充実を図るため、圏域内に所在する地域子育て支援センターの広域的利用を図る。
甲（新庄市）の役割	甲の区域に所在する地域子育て支援センターで実施する事業について、圏域内住民を対象とするとともに、住民に対し事業の普及啓発を行う。
乙（連携町村）の役割	乙の区域に所在する地域子育て支援センターで実施する事業について、圏域内住民を対象とするとともに、住民に対し事業の普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名		子育て支援センター事業							
関係市町村名		新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村							
事業内容 (連携内容)		圏域内市町村が運営主体となっている子育て支援センターで実施する育児相談等について、圏域住民が相互に利用できるようにするとともに、圏域住民に適切な利用と普及啓発を行う。また、子育て支援センター間での連携を図るため、勉強会・情報交換会などを開催する。							
期待される効果		圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	育児相談等								
	圏域住民への普及啓発								
	勉強会・情報交換会の実施								
事業費見込 (千円)		R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
		25, 127	21, 215	21. 215	21, 215	21, 215	21, 215		
新 庄 市		4, 595	4, 595	4, 595	4, 595	4, 595	4, 595		
金 山 町		3, 500	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500		
最 上 町									
舟 形 町		4, 725	4, 725	4, 725	4, 725	4, 725	4, 725		
真 室 川 町		6, 495	6, 495	6, 495	6, 495	6, 495	6, 495		
大 蔵 村									
鮭 川 村		600	600	600	600	600	600		
戸 沢 村		5, 212	1, 300	1, 300	1, 300	1, 300	1, 300		
活用を想定する 補助制度等		・子ども・子育て支援交付金（国 1/3 県 1/3） ・山形県保育対策等促進事業費補助金							
実施方法		☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☒ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）							
連携に必要な 手続き									
役割分担 の考え方		・住民への情報提供は、各市町村がそれぞれ行う。							
目 標 指 標		指標名		説明		基準値		目標値	
		勉強会・情報交換 会の開催件数(回)		新庄市調べ		年度	R 元	R 7	
						実績	1	2	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

ウ 子どもの遊び場の確保

形成協定の内容

取組の内容	雨天時等における子どもの遊び場を確保するため、甲が設置する屋内型遊び場について、圏域住民の利用を促進するとともに、利用拡大に向けた取り組みを行う。
甲（新庄市）の役割	屋内型遊び場を設置し、乙と連携して当該遊び場の適切な運営及び普及啓発を行う。
乙（連携町村）の役割	甲が設置する屋内型遊び場の運営に協力するとともに、住民に対し適切な利用について普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	わらすこ広場の広域利用								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 (連携内容)	新庄市で設置する屋内型遊び場「わらすこ広場」を圏域中心の遊び場として位置づけ、施設の利便性の向上と環境整備を進め、広域利用を図る。								
期待される効果	圏域全体として、子どもの健やかな成長のための環境整備の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	わらすこ広場の運営								
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7			
	24, 516	24, 516	24, 516	24, 516	24, 516	24, 516			24, 516
	新 庄 市	24, 516	24, 516	24, 516	24, 516	24, 516			24, 516
	金 山 町								
	最 上 町								
	舟 形 町								
	真 室 川 町								
	大 蔵 村								
	鮭 川 村								
	戸 沢 村								
活用を想定する 補助制度等									
実施方法	☒ 中心市が主体となり実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ その他（ ）								
連携に必要な 手続き	・費用負担の連携事項はなし								
役割分担 の考え方	・新庄市は、わらすこ広場の管理運営を行う。 ・各町村は、住民に対する適正な利用と普及啓発を行う。								
目標指標	指標名		説明			基準値		目標値	
	わらすこ広場の利用 者数（人）		圏域住民の利用者数		年度	R 元		R 7	
					実績	29, 032		29, 100	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

エ 地域子ども・子育て支援

形成協定の内容

取組の内容	圏域内市町村が実施する地域子ども・子育て支援事業のうち、相互利用が可能な事業について、圏域内住民を対象に広域利用の推進を図る。
甲（新庄市）の役割	甲が実施する地域子ども・子育て支援事業のうち、広域利用が効果的な事業について、乙と連携し事業展開を図るとともに、乙が実施する事業を甲の住民が利用する場合は、その運営について必要な支援を行う。
乙（連携町村）の役割	乙が実施する地域子ども・子育て支援事業のうち、広域利用が効果的な事業について、甲と連携し事業展開を図るとともに、甲が実施する事業を乙の住民が利用する場合は、その運営について必要な支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	ファミリー・サポート・センター支援事業								
関係市町村名	新庄市、最上町、金山町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 (連携内容)	圏域住民に対する子育て支援の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業について、広域利用の推進を図る。								
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	事業実施								
	甲の事業の拡大利用のための検討								
	甲の事業の拡大利用実施								
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3		R 4	R 5		R 6		R 7
	4,760	4,760		4,760	6,760		5,760		5,760
	新 庄 市	4,760		4,760	6,760		5,760		5,760
	金 山 町				※R5 年度以降は協議により決定予定				
	最 上 町								
	舟 形 町								
	真 室 川 町								
	大 蔵 村								
	鮭 川 村								
	戸 沢 村								
活用を想定する 補助制度等	・子ども子育て支援交付金（国 1/3 県 1/3） ・山形県保育対策等促進事業費補助金								
実施方法	■中心市が主体となり実施 □協議会等により実施 □近隣町村が主体となり実施 □合同又は持ち回りで実施 ■それぞれの市町村で実施 □その他（ ）								
連携に必要な 手続	・甲乙が実施するファミリー・サポート・センター事業について、広域利用が難しいことから、甲の実施する事業の拡大利用の実施を検討する。 ・民間の実施主体との調整（甲の委託事業ファミリー・サポート・センターの拡大利用とファミリー・サポート・センターもがみの廃止の確認） ・認可外保育施設同様の協定が必要（甲の委託事業ファミリー・サポート・センターの町村の拡大利用について協定締結、甲の経費に係る乙の負担割合の協議、市町村予算化）								
役割分担 の考え方	・新庄市は、事業実施の調整を図る。 ・各町村は、住民への周知を図り、新庄市の事業費について応分の負担を行う。								
目標指標	指標名		説明		基準値		目標値		
	登録会員数 (人)		圏域内会員数（依 頼・協力）		年度	R 元	R 7		
					実績	239	290		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

③ 教育

ア 教育関係者に対する合同研修

形成協定の内容

取組の内容	子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、きめ細やかな教育環境の整備を図るため、教育関係者の研修の場の確保及び指導能力の向上を目指し、合同研修を行う。
甲（新庄市）の役割	乙と連携して、教育関係者に対する研修の企画調整を行うとともに、合同研修会を開催し、当該研修について、教育関係者への周知及び参加の取りまとめを行う。
乙（連携町村）の役割	甲と連携して、教育関係者の合同研修会を開催し、当該研修について、教育関係者への周知及び参加の取りまとめを行う。

具体的な連携事業 1

事業名		特別支援教育に係る指導者育成のための合同研修事業									
関係市町村名		新庄市、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、戸沢村									
事業内容 (連携内容)		特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するため、特別支援教育に係る研修会を実施し、教職員等の指導力向上を図る。									
期待される効果		特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加傾向にある中、研修を通して、教職員の特別支援教育の理解と実践力の向上が期待できる。また、教職員の人 事異動に関わらず、一定の水準を満たす支援を行うことができる。									
実施スケジュール		具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		合同研修会の開催									
事業費見込 (千円)		R2 予算	R3	R4	R5		R6		R7		
		90	90	90	90		90		90		
		新 庄 市	15	15	15	15		15		15	
		最 上 町	15	15	15	15		15		15	
		舟 形 町	15	15	15	15		15		15	
		真 室 川 町	15	15	15	15		15		15	
		大 蔵 村	15	15	15	15		15		15	
		戸 沢 村	15	15	15	15		15		15	
		活用を想定する 補助制度等									
実 施 方 法		☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ 協議会等により実施 ☒ 合同又は順番で実施 ☐ その他（ ）									
連 携 に 必 要 な 手 続 き		・ 研修内容の調整会議 ・ 講師の確保・日程調整									
役 割 分 担 の 考 え 方		・ 新庄市は、各町村と調整のうえ、研修の企画、割り当てを行う。 ・ 各市町村は、割り当てに基づき研修会運営を分担し、研修に要する経費は各 市町村がそれぞれ負担する。									
目 標 指 標		指標名		説明				基準値		目標値	
		合同研修会の開 催数（回）		新庄市調べ		年度		R 2		R 7	
						実績		1		3	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

事業名	教育研究センター運営事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容 (連携内容)	社会環境の変化に応じたより適切な教育の実践に向け、圏域内の教育関係職員への指導及び研修体制の充実、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究を推進するため、最上広域市町村圏事務組合に教育研究センターを設置する。						
期待される効果	教育研究センター施設設備、機能を活用し、効果的な指導法についての指導・研修が充実し、指導能力が向上することにより、子ども達の探究心を高めるとともに、学力の向上が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	教育関係職員の研修及び指導助言						
	教育に関する専門的事項の調査研究						
	算数数学スーパーバイザーの配置						
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
	48,087	48,907	49,449	54,593	47,653	42,525	
新 庄 市	24,254	24,667	24,941	27,535	24,035	23,970	
金 山 町	3,661	3,723	3,764	4,156	3,628	3,618	
最 上 町	5,613	5,707	5,772	6,372	5,562	547	
舟 形 町	3,381	3,439	3,477	3,838	3,350	3,341	
真 室 川 町	4,305	4,379	4,427	4,888	4,266	4,255	
大 蔵 村	2,260	2,299	2,324	2,566	2,240	2,234	
鮭 川 村	2,260	2,299	2,324	2,566	2,240	2,234	
戸 沢 村	2,353	2,394	2,420	2,672	2,332	2,326	
活用を想定する 補助制度等							
実 施 方 法	☐ 中心市が主体となり実施 ■協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 □合同又は順番で実施 ☐ それぞれの市町村で実施 □その他（ ）						
連 携 に 必 要 な 手 続 き	・最上広域市町村圏事務組合との調整						
役 割 分 担 の 考 え 方	・施設の運営に要する経費は、最上広域市町村圏事務組合分担金の負担割合に応じて市町村が負担する。						
目 標 指 標	指標名	説明		基準値	目標値		
	施設利用者数(人)	最上広域市町村圏 事務組合調べ	年度	R 元	R 7		
			実績	6,319	6,300		
	算数・数学スーパー バイザーの訪問(回)	最上広域市町村圏 事務組合調べ	年度	R 元	R 7		
実績			64	70			

形成協定の内容

具体的な連携事業

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

④ 産業振興

ア 企業誘致

形成協定の内容

取組の内容	地域経済の活性化を図るため、圏域内の工業団地への企業誘致に向けた取り組みを推進する。
甲（新庄市）の役割	乙と連携し、企業誘致の推進に関する取組を行う。
乙（連携町村）の役割	甲と連携し、企業誘致の推進に関する取組を行う。

具体的な連携事業

事業名	新庄中核工業団地企業誘致促進事業								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 （連携内容）	圏域の中心的な就業場所となる「新庄中核工業団地」へ企業を誘致するため、新庄中核工業団地企業誘致促進協議会を組織し、圏域内の行政、企業、各種団体が一体となった企業誘致活動を展開する。								
期待される効果	圏域の産業振興と雇用の場の拡大による定住人口の確保が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	企業誘致活動								
事業費見込 （千円）	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7			
	1, 167	1, 167	1, 167	1, 167	1, 167	1, 167			
	新 庄 市	585	585	585	585	585	585		
	金 山 町	80	80	80	80	80	80		
	最 上 町	121	121	121	121	121	121		
	舟 形 町	77	77	77	77	77	77		
	真 室 川 町	116	116	116	116	116	116		
	大 蔵 村	54	54	54	54	54	54		
	鮭 川 村	64	64	64	64	64	64		
	戸 沢 村	70	70	70	70	70	70		
活用を想定する 補助制度等									
実 施 方 法	☐中心市が主体となり実施 ☐近隣町村が主体となり実施 ☐それぞれの市町村で実施 ☒協議会等により実施 ☐合同又は持ち回りで実施 ☐その他（ ）								
連 携 に 必 要 な 手 続 き	・協議会の運営								
役 割 分 担 の 考 え 方	・新庄市は、協議会の事務局を担う。 ・協議会に要する費用は、各市町村が負担する。								
目 標 指 標	指標名		説明				基準値		目標値
	操業企業数（社）		新庄市の工業団地内 （間借りを除く）		年度 実績		R 2 62		R 7 65

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

イ 広域観光
形成協定の内容

取組の内容	圏域内に存在する観光資源の魅力を活かした広域的な観光について、情報発信等を行う。
甲（新庄市）の役割	乙及び関係団体と連携して、圏域内に存在する様々な観光資源の魅力を活かした広域的な観光に関する情報発信等を行う。
乙（連携町村）の役割	甲及び関係団体と連携して、圏域内に存在する様々な観光資源の魅力を活かした広域的な観光に関する情報発信等を行う。

具体的な連携事業 1

事業名	最上広域観光事業								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 (連携内容)	県(事務局)や関係団体を交えた最上地域観光協議会を組織し、圏域全体としての広域観光会議を開催し、圏域の観光施策の企画検討を行い、効果的な広域観光を推進する。								
期待される効果	自治体間連携の広域観光を推進することで、多様化する観光ニーズに応えることができる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	観光素材の発掘・磨き上げ・売込事業								
	広域観光キャンペーン事業								
	観光客受入態勢の整備事業								
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7			
	7,605	7,605	7,605	7,605	7,605	7,605			
	新 庄 市	2,280	2,280	2,280	2,280	2,280			
	金 山 町	653	653	653	653	653			
	最 上 町	1,208	1,208	1,208	1,208	1,208			
	舟 形 町	758	758	758	758	758			
	真 室 川 町	743	743	743	743	743			
	大 蔵 村	506	506	506	506	506			
	鮭 川 村	546	546	546	546	546			
	戸 沢 村	911	911	911	911	911	911		
活用を想定する 補助制度等	・山形県観光キャンペーン推進協議会助成金								
実施方法	□中心市が主体となり実施 □近隣町村が主体となり実施 □それぞれの市町村で実施			■協議会等により実施 □合同又は持ち回りで実施 □その他（					

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

具体的な連携事業 2

事業名	陸羽東西線利用促進事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容 (連携内容)	J R 陸羽東西線沿線の市町村において陸羽東西線利用推進協議会を組織し、利 活用の促進による庄内地域、宮城県大崎地域との交流の活発化を推進する。						
期待される効果	利用促進イベントや J R ダイヤ改正要望をとおり、さらなる利用拡大が図られ る。また、沿線自治体間連携の広域観光の取り組みをとおり、新たな利用が期 待できる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	利用促進イベント事業						
	J R ダイヤ改正要望会						
	利用促進リーフレットの作成						
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
	90	90	90	90	90	90	
	新 庄 市	28	28	28	28	28	28
	金 山 町	6	6	6	6	6	6
	最 上 町	14	14	14	14	14	14
	舟 形 町	12	12	12	12	12	12
	真 室 川 町	6	6	6	6	6	6
	大 蔵 村	6	6	6	6	6	6
	鮭 川 村	6	6	6	6	6	6
	戸 沢 村	12	12	12	12	12	12
活用を想定する 補助制度等							
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他 ()						
連携に必要な 手続き	協議会の組織運営						
役割分担 の考え方	・ 協議会に要する費用は、各市町村が負担する。 ・ 各市町村は、協議会で実施する事業に協力する。						
目標指標	指標名	説明		基準値	目標値		
	陸羽東西線運行列 車本数 (本)	新庄市調べ	年度	R 2	R 7		
			実績	36	36		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

形成協定の内容

具体的な連携事業

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。
事業化した後に、目標指標を設定する。

形成協定の内容

具体的な連携事業

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。
事業化した後に、目標指標を設定する。

⑤ 生活・環境

ア 斎場施設の共同管理・相互利用

形成協定の内容

取組の内容	圏域内における快適で衛生的な生活環境を維持するため、連携して斎場の設置、管理運営及び相互利用を行う。また、圏域に見合う持続可能な斎場施設のあり方について、検討を進める。
甲（新庄市）の役割	甲が設置する斎場施設の利用について、乙の住民に対する利用を可能とし、乙と連携して施設の管理運営にあたる。また、圏域に見合う持続可能な斎場施設のあり方について、乙と連携して検討を進める。
乙（連携町村）の役割	乙が設置する斎場施設の利用について、甲の住民に対する利用を可能とし、甲と連携して施設の管理運営にあたる。また、圏域に見合う持続可能な斎場施設のあり方について、甲と連携して検討を進める。

具体的な連携事業 1

事業名	火葬場の相互利用						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、戸沢村						
事業内容（連携内容）	圏域内の斎場施設を、故障時や災害時等の際には、各施設の設置市町村の住民と圏域内市町村の住民が同一の条件で利用可能とする。また、火葬場の相互利用を促進するため、圏域内火葬場の施設や環境を整備する。						
期待される効果	故障時や災害時等に限定されるが、圏域内利用者サービスとしての地域連携効果は高い。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	合意形成と費用負担のあり方検討						
	相互利用の運用開始 （※上記項目が整理されしだい）						
事業費見込（千円）	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
活用を想定する補助制度等	特になし 財源：火葬場使用料						
実施方法	☒ 中心市が主体となり実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は順番で実施 ☒ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連携に必要な手続き	各市町村の条例・規則等の整備、予算措置						
役割分担の考え方	・各市町村は、住民の利用実績に応じ施設の運営に要する経費を負担する。 ・新庄市は、圏域内施設の相互利用に向けた連絡調整を行う。						
目標指標	指標名	説明		基準値	目標値		
	相互利用の施設数	協定による共同利用が可能となった時点で設定	年度	R2	R7		
			実績	—	—		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、前年度の予算で具体額を定める。
事業化した後に、目標指標を設定する。

具体的な連携事業 2

事業名	火葬場の共同管理検討事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容 (連携内容)	各市町村で設置している斎場施設の管理運営を広域的に実施するため、更新時期等に合わせて、共同管理の検討を進める。						
期待される効果	各町村における管理委託者の確保することにより、斎場管理に係る事務の効率化や費用軽減、火夫等の人材確保に資することが期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	現状分析と共同管理のあり方検討						
	斎場予約管理システムの導入 (※上記項目が整理されしだい)						
事業費見込 (千円)	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
活用を想定する 補助制度等							
実施方法	☒ 中心市が主体となり実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は順番で実施 ☒ それぞれの市町村で実施 ☐ その他 ()						
連携に必要な 手続	それぞれの市町村の施設の更新時期などに合わせて、長期的な展望の中で検討を進めるためにも、自治体間の検討会の設定や各自治体内の住民の意見を徴収する住民懇談会等の開催についても検討していく。						
役割分担 の考え方	- 各市町村は、斎場施設の運営転換のあり方について経費負担を併せながら検討する。 - 新庄市は、圏域内施設の共同管理に向けた連絡調整を行う。						
目標指標	指標名	説明		基準値	目標値		
	共同管理による施設数	協定による共同管理が可能となった時点で設定	年度	R2	R7		
			実績	—	—		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、前年度の予算で具体額を定める。
事業化した後に、目標指標を設定する。

イ ごみ減量化・再資源化の推進

形成協定の内容

取組の内容	循環型社会の構築を進めるため、ごみ等の処理を共同で実施するとともに、ごみの減量化及び再資源化の推進に向けた連携についての検討を行う。
甲（新庄市）の役割	乙と連携し、圏域内におけるごみ処理に対する課題を整理し、ごみ等の共同処理を行うとともに、ごみの減量化及び再資源化に向けた取り組みについての検討を行う。
乙（連携町村）の役割	甲と連携し、圏域内におけるごみ処理に対する課題を整理し、ごみ等の共同処理を行うとともに、ごみの減量化及び再資源化に向けた取り組みについての検討を行う。

具体的な連携事業 1

事業名	ごみ減量化・再資源化検討事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容（連携内容）	ごみ減量化や再資源化の推進に向けた住民への周知を図るとともに、圏域内での更なる減量化・再資源化を進めるため、国の「プラスチック資源循環戦略」を受けた廃プラスチック類のリサイクルやごみの分別方法の統一、収集運搬の連携に向けた検討を行う。						
期待される効果	広域ごみ処理施設の延命化と経費節減、ごみ減量化に伴う循環型社会の構築並びにCO2削減が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	ごみ減量化対策推進計画策定（更新）	→					
	ごみ減量化対策推進計画の推進	→	→	→	→	→	→
	食品トレーリサイクルシステム「新庄もがみ方式」の推進	→	→	→	→	→	→
	廃プラスチック類のリサイクル方法についての協議・検討		→	→	→	→	→
事業費見込（千円）	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
	3,237	3,237	3,237	3,237	3,237	3,237	
	新 庄 市	2,131	2,131	2,131	2,131	2,131	2,131
	金 山 町	120	120	120	120	120	120
	最 上 町	191	191	191	191	191	191
	舟 形 町	118	118	118	118	118	118
	真 室 川 町	402	402	402	402	402	402
	大 蔵 村	74	74	74	74	74	74
	鮭 川 村	89	89	89	89	89	89
	戸 沢 村	112	112	112	112	112	112
活用を想定する補助制度等							
実施方法	☒ 中心市が主体となり実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連携に必要な手続き	・検討組織の設置 ・構造改革特区、循環型社会形成推進計画等の検討						
役割分担の考え方	・新庄市は、ごみ減量化・再資源化に係る検討組織（新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化対策推進協議会）の事務局を担う。 ・各市町村は、住民への周知・広報を行う。 ・検討・周知に必要な経費については、各市町村が応分の負担を行う。						
目標指標	指標名	説明		基準値	目標値		
	家庭系ごみ1人1日 当たり排出量（g）	ごみ減量化対策推進 計画	年度	R 1	R 7		
			実績	644	631		
	事業系ごみ量（t）	ごみ減量化対策推進 計画	年度	R 1	R 7		
			実績	7,300	6,854		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、前年度の予算で具体額を定める

具体的な連携事業 2

事業名	ごみ処理施設の共同運営事業								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 (連携内容)	圏域におけるごみ処理業務を共同で実施するため、最上広域市町村圏事務組合にごみ処理施設を設置し、管理運営を共同処理する。また、ごみの減量化・再資源化を推進しながら、施設の長寿命化に向けた変更計画の策定と、計画に伴う基幹的設備改良事業を実施し、施設の延命化を図っていく。								
期待される効果	ごみ処理施設の設置、管理運営を共同処理することにより、廃棄物の安定的かつ効率的な処理体制が確保される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	ごみ焼却処理施設の管理運営								
	再資源化・粗大ごみ処理施設の管理運営								
	最終処分場の管理運営								
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7			
	886, 091	956, 086	966, 407	963, 719	981, 984	942, 820			
	新 庄 市	402, 029	423, 007	417, 422	416, 152	424, 580	400, 926		
	金 山 町	67, 961	75, 643	78, 000	77, 771	79, 735	76, 782		
	最 上 町	108, 344	119, 611	123, 189	122, 862	125, 064	121, 559		
	舟 形 町	65, 654	71, 857	73, 956	73, 780	74, 927	72, 959		
	真 室 川 町	103, 079	113, 531	116, 859	116, 560	118, 586	115, 401		
	大 蔵 村	40, 063	43, 879	45, 163	45, 054	45, 765	44, 667		
	鮭 川 村	46, 223	50, 776	52, 317	52, 184	53, 039	51, 691		
	戸 沢 村	52, 738	57, 782	59, 501	59, 356	60, 288	58, 835		
活用を想定する 補助制度等									
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ その他（ ）								
連携に必要な 手 続 け	・最上広域市町村圏事務組合との調整								
役割分担 の 考 え 方	・共同処理に要する経費は、最上広域市町村圏事務組合分担金の負担割合に応じて市町村が負担する。								
目 標 指 標	指標名		説明		基準値		目標値		
	家庭系、事業系、集団回収のごみ処理量(ｔ)		ごみ減量化対策推進計画		年度	R 1	R 7		
					実績	23, 934	23, 699		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

ウ 下水道施設の共同管理

形成協定の内容

取組の内容	下水道処理施設の維持管理等を広域的に実施する。
甲（新庄市） の役割	下水道処理施設の維持管理等に係る事務を乙と共同で管理し、及び執行する。
乙（連携町村） の役割	下水道処理施設の維持管理等に係る事務を甲と共同で管理し、及び執行する。

具体的な連携事業

事業名	下水処理施設共同管理事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、戸沢村						
事業内容 （連携内容）	最上圏域下水道共同管理協議会を組織し、下水道終末処理場の事務（終末処理場の水質試験に関する事務、終末処理場の運転監視及び保守点検に関する事務）を共同で管理、執行する。						
期待される効果	監視設備等のスケールメリットによるコストダウン、周辺浄化センターの無人化による管理人員の減、水質試験室不要による省スペース化、共同での一体整備・事業推進の円滑化が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	運転監視及び保守点検業務						
	水質試験業務						
事業費見込 (千円)	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
	158,401	159,188	159,986	161,146	161,589	162,398	
	新 庄 市	81,501	81,908	82,318	82,730	83,143	83,559
	金 山 町	13,272	13,338	13,405	13,472	13,539	13,607
	最 上 町	13,987	14,056	14,127	14,197	14,268	14,340
	舟 形 町	12,961	13,025	13,090	13,156	13,222	13,288
	真 室 川 町	12,782	12,845	12,910	12,974	13,039	13,104
	大 蔵 村	11,759	11,817	11,876	11,936	11,995	12,055
	戸 沢 村	12,139	12,199	12,260	12,321	12,383	12,445
活用を想定する 補助制度等							
実 施 方 法	☐ 中心市が主体となり実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連 携 に 必 要 な 手 続 き	・最上圏域下水道共同管理協議会規約						
役 割 分 担 の 考 え 方	・協議会の事務の管理及び執行に要する経費は、規約に基づき各市町村が負担する。						
目 標 指 標	指標名	説明		基準値	目標値		
	共同管理する施設 数（所）	新庄市調べ	年度	R2	R7		
			実績	7	7		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

エ 水道事業の広域連携

形成協定の内容

取組の内容	水道事業の効率的な経営のため、広域連携について調査及び研究を行い、水道事業の経営基盤の強化を図る。
甲（新庄市）の役割	乙と連携し、広域連携について調査及び研究を行い、水道事業の経営基盤の強化に向けた取組を推進する。
乙（連携町村）の役割	甲と連携し、広域連携について調査及び研究を行い、水道事業の経営基盤の強化に向けた取組を推進する。

具体的な連携事業

事業名	水道事業共同管理運営事業								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 （連携内容）	新庄最上地区水道協議会の組織において、水道事業の業務系（業務システム（公会計・料金・財務））に関する事務、水道事業の維持管理（メーター器購入・薬品購入・施設や設備の保守点検・水道台帳システム・包括的な業務委託）に関する事務など広域連携の検討を行い、実施可能なものから共同で管理、運営を行う。								
期待される効果	水道事業における同種同様な業務等のスケールメリットによるコストダウンのほか、情報の共有と円滑化が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	広域連携の検討								
	業務系に関する事務の共同業務								
	維持管理系に関する事務の共同業務								
事業費見込 （千円）	R2 予算		R3	R4	R5		R6		R7
活用を想定する 補助制度等									
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ その他（ ）								
連携に必要な 手続	・新庄最上地区水道協議会								
役割分担 の考え方	・協議会の事務の管理及び執行に要する経費は、規約に基づき各市町村が負担する。 ・実施する事務に要する経費は、各市町村が個別に負担する。								

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。
事業化した後に、目標指標を設定する。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

ア コミュニティバス等の運行

形成協定の内容

取組の内容	地域内外の往来を活発化し、圏域内住民の日常生活圏の拡大及び利便性の向上を図るため、地域公共交通サービスの提供及びその拡充に向けた取り組みを推進する。
甲（新庄市）の役割	甲及び乙の区域を結ぶコミュニティバス等の運行に配慮するとともに、住民への情報提供を行い、利用を促進する。
乙（連携町村）の役割	甲及び乙の区域を結ぶコミュニティバス等の運行について、甲と連携して実施する。

具体的な連携事業 1

事業名	コミュニティバス運行事業						
関係市町村名	新庄市、鮭川村						
事業内容（連携内容）	通勤や通学の利便性を高めるため、近隣町村と中心市を結ぶコミュニティバスの運行を行う。						
期待される効果	コミュニティバスを運行することにより、交通空白地帯が解消され、地域住民の利便性の向上が見込まれる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	羽根沢・新庄線の運行						
	共有バス停留所の整備						
事業費見込 (千円)	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	
	新 庄 市	50	50	50	50	50	50
	鮭 川 村	11,850	11,850	11,850	11,850	11,850	11,850
活用を想定する補助制度等							
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 協議会等により実施 ☒ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連携に必要な手続	・地域公共交通会議、運輸局への手続き、関係機関との協議 ・他市町村の区域を運行するバス路線の利用についての協定						
役割分担の考え方	・各市村は、運行するコミュニティバスについて住民への周知を行う。 ・コミュニティバスの運行に要する費用は、運行距離に応じて負担する。						
目 標 指 標	指標名	説明		基準値	目標値		
	利用者数（人）	1月～12月までの利用者数 （鮭川村調べ）	年度	R 元	R 7		
			実績	6,137	7,400		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

具体的な連携事業 2

事業名	コミュニティバスの運行事業							
関係市町村名	新庄市、大蔵村							
事業内容 (連携内容)	通勤や通学の利便性を高めるため、近隣町村と中心市を結ぶコミュニティバスの運行を行う。							
期待される効果	交通手段が確保されることにより、地域住民の利便性の向上が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	肘折温泉新庄線の運行							
	共有バス停留所の整備							
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
	36,300	36,300	36,300	36,300	36,300	36,300	36,300	
	新 庄 市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	大 蔵 村	34,300	34,300	34,300	34,300	34,300	34,300	
活用を想定する 補助制度等								
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 協議会等により実施 ☒ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他 ()							
連携に必要な 手続	・地域公共交通会議、運輸局への手続き、関係機関との協議 ・他市町村の区域を運行するバス路線の利用についての協定							
役割分担 の考え方	・各市村は、運行するコミュニティバスについて住民への周知を行う。 ・コミュニティバスの運行に要する費用は、運行距離に応じて負担する。							
目標指標	指標名		説明			基準値	目標値	
	利用者数 (人)		1月～12月までの 利用者数 (大蔵村調べ)		年度	R 元	R 7	
					実績	29,216	36,000	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

② 道路等の交通インフラの整備

ア 道路の除排雪

形成協定の内容

取組の内容	圏域内の交流を促進するため、圏域内市町村道における冬期間の効率的な除排雪体制の充実に向けた取り組みを推進する。
甲（新庄市）の役割	冬期間の地域間ネットワークの維持向上を図るため、甲及び乙を結ぶ道路について、乙と連携して道路の除排雪を行う。
乙（連携町村）の役割	冬期間の地域間ネットワークの維持向上を図るため、甲及び乙を結ぶ道路について、甲と連携して道路の除排雪を行う。

具体的な連携事業

事業名		道路除雪の代行除雪							
関係市町村名		新庄市、大蔵村							
事業内容 (連携内容)		市町村間を結ぶ道路の一部について、中心市が隣接する近隣町村の道路の除雪を代行して行う。							
期待される効果		必要な移動時間、経費の面等から見て単独で除排雪を行うよりも効率的であり、地域住民にとって冬期間の交通の安全性が確保される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	事業実施								
事業費見込 (千円)	R 2 予算	R 3		R 4	R 5		R 6		R 7
	1,500	1,500		1,500	1,500		1,500		1,500
	新 庄 市								
	大 蔵 村	1,500		1,500	1,500		1,500		1,500
活用を想定する 補助制度等									
実 施 方 法		☐ 中心市が主体となり実施 ☒ 近隣町村が主体となり実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ その他（ ）							
連 携 に 必 要 な 手 続 け		・ 地域公共交通会議、運輸局への手続き、関係機関との協議 ・ 他市町村の区域を運行するバス路線の利用についての協定							
役 割 分 担 の 考 え 方		・ 新庄市は、各町村の道路の一部を代行して除雪する。 ・ 各町村は、代行分の除雪費用を負担する。							

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。目標指標は設定しない。

③ 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 結婚活動支援

形成協定の内容

取組の内容	圏域内に居住する若者の成婚を促進するため、圏域外住民との交流を含めた結婚活動支援に取り組む。
甲（新庄市）の役割	乙と連携して、圏域住民を対象とした結婚活動支援を行う。
乙（連携町村）の役割	甲と連携して、圏域住民を対象とした結婚活動支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	結婚活動支援事業						
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村						
事業内容（連携内容）	最上広域婚活実行委員会を組織し、結婚を希望する未婚男女の出会いの場を創出するため、各種イベント、講座等を開催する。						
期待される効果	未婚者が結婚することにより、最上地域内での定住と出産につながる事が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	イベントの開催						
	各種講座						
事業費見込 (千円)	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7	
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	新 庄 市	354	354	354	354	354	354
	金 山 町	90	90	90	90	90	90
	最 上 町	122	122	122	122	122	122
	舟 形 町	87	87	87	87	87	87
	真 室 川 町	119	119	119	119	119	119
	大 蔵 村	69	69	69	69	69	69
	鮭 川 村	77	77	77	77	77	77
	戸 沢 村	82	82	82	82	82	82
活用を想定する補助制度等							
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☐ その他（ ）						
連携に必要な手続き	・最上広域婚活実行委員会の運営						
役割分担の考え方	・各市町村は、実行委員会で実施する事業の周知を行う。 ・実行委員会に要する費用は、各市町村が負担する。						
目標指標	指標名	説明		基準値	目標値		
	イベント参加者数（人）	イベントにおける参加者数	年度	R 元	R 7		
			実績	28	35		

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

イ 交流の促進
形成協定の内容

取組の内容	都市の若者を地域おこし協力隊として受け入れ、地域資源の発掘等の各種の地域協力活動に従事させながら、圏域への定住を図る。また、地域活性化を図るため、圏域内外住民との交流を促進する。
甲（新庄市）の役割	乙と連携し、地域おこし協力隊を募集するとともに、地域おこし協力隊が圏域で活動しやすい環境を整備する。また、交流の促進のための情報発信等を行う。
乙（連携町村）の役割	甲と連携し、地域おこし協力隊を募集するとともに、地域おこし協力隊が圏域で活動しやすい環境を整備する。また、交流の促進のための情報発信等を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域おこし協力隊交流事業								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容	地域おこし協力隊に採用された者の経験や都会からの目線での、新たな地域資源の発見や観光資源等の素材の活用が一層充実されるよう、圏域に在住する地域おこし協力隊による情報交換会を開催する。								
期待される効果	地域資源をつなぎ合えた新たな企画が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	地域おこし協力隊の情報交換会								
事業費見込 (千円)	R 2 予算		R 3	R 4	R 5		R 6		R 7
活用を想定する 補助制度等									
実施方法	☐ 中心市が主体となり実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☐ それぞれの市町村で実施 ☒ 協議会等により実施 ☐ 合同又は持ち回りで実施 ☐ その他（ ）								
役割分担 の考え方	・各市町村は、地域おこし協力隊の採用を行い、活動に向けた環境整備を行う。 ・新庄市は、地域おこし協力隊の情報交換に向けた連絡調整を行う。								
目標指標	指標名		説明				基準値		目標値
	隊員の任期満了後の 圏域内定住者（人）		毎年 4 月時点		年度	R 2		R 7	
					実績	15		30	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

形成協定の内容

② 情報の共有・発信

ア 圏域住民への情報の提供

形成協定の内容

取組の内容	広域化する住民活動を踏まえ、圏域内における情報の共有化を図り、ホームページ、広報紙等を活用し、圏域内の催しや共通課題などに関する情報発信を連携して行う。
甲（新庄市）の役割	圏域内情報の収集を行うとともに、具体的な掲載内容及び手法を企画し、乙と連携して圏域内住民への情報の提供を行う。
乙（連携町村）の役割	圏域内情報の収集を行うとともに、連携して発信する情報の検討を行い、甲と連携して圏域内住民への情報の提供を行う。

具体的な連携事業

事業名	統一テーマによる広報事業								
関係市町村名	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村								
事業内容 (連携内容)	圏域内イベントの情報、共通課題などに関し、内容や時期を合わせて広報活動を行う。								
期待される効果	広域化している圏域住民生活に関する効果的な情報を発信することができる。統一広報によるコスト削減が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	広報担当者会議								
	統一広報随時実施								
事業費見込 (千円)	R2 予算	R3	R4	R5	R6	R7			
	5	5	5	5	5	5			
	新 庄 市	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
	金 山 町	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	最 上 町	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	舟 形 町	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	真 室 川 町	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	大 蔵 村	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	鮭 川 村	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	戸 沢 村	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
活用を想定する 補助制度等									
実施方法	☒ 中心市が主体となり実施 ☐ 近隣町村が主体となり実施 ☒ それぞれの市町村で実施 ☐ 協議会等により実施 ☐ 合同又は順番で実施 ☐ その他 ()								
役割分担 の考え	・新庄市は、広報担当者会議を招集し、連携記事の企画とその内容に応じた役割分担を検討する。 ・広報に要する費用は、各市町村が負担する。								
目標指標	指標名		説明			基準値		目標値	
	勉強会等の実施回数 (回)		新庄市調べ		年度	R 元		R 7	
					実績	2		3	

事業費見込は現時点での連携市町村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定める。

6 共生ビジョン事業一覧

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
34,285	34,350	34,350	1,350	1,350	1,350	72,750

ア 地域医療体制の充実

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
新庄市	-	最上地域保健医療 対策事業	関係機関を含めた最上地域 保健医療対策協議会を組織 し、地域の医療体制充実の ため、医学生研修会、救急 医療講習会、病院連携懇談 会などの事業を連携して実 施する。	608	608	608	608	608	608	3,040
金山町	1-1-(1)			109	109	109	109	109	545	
最上町	1-1-(1)			126	126	126	126	126	630	
舟形町	1-1-(1)			108	108	108	108	108	540	
真室川町	1-1-(1)			121	121	121	121	121	605	
大蔵村	1-1-(1)			84	84	84	84	84	420	
鮭川村	1-1-(1)			94	94	94	94	94	470	
戸沢村	1-1-(1)			100	100	100	100	100	500	
計				1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	6,750

イ 軽症救急患者の利用促進と適正受診の勧奨

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	新庄市夜間休日診療所運営事業	新庄市で設置している夜間休日診療所について、関係機関との連携による円滑な運営を図るとともに、その適正な利用について圏域住民への普及啓発を行う。	32,935	33,000	33,000				66,000
金山町	1-1-(2)									
最上町	1-1-(2)									
舟形町	1-1-(2)									
真室川町	1-1-(2)									
大蔵村	1-1-(2)									
鮭川村	1-1-(2)									
戸沢村	1-1-(2)									
計				32,935	33,000	33,000				66,000

② 福祉

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
63,042	59,130	59,130	61,130	60,130	60,130	299,650

ア 認可外保育施設への支援

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	認可外保育施設すこやか保育事業	認可外保育施設が実施する保育について、新庄市と各町村が利用者に応じて相互に運営費の一部を支援する。	7,881	7,881	7,881	7,881	7,881	7,881	39,405
金山町	1-2-(1)			432	432	432	432	432	432	2,160
最上町	1-2-(1)									
舟形町	1-2-(1)									
真室川町	1-2-(1)			288	288	288	288	288	288	1,440
大蔵村	1-2-(1)			36	36	36	36	36	36	180
鮭川村	1-2-(1)			1	1	1	1	1	1	5
戸沢村	1-2-(1)			1	1	1	1	1	1	5
計				8,639	8,639	8,639	8,639	8,639	8,639	43,195

イ 地域子育て支援センターの広域利用

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	子育て支援センター事業	圏域内市町村が運営主体となっている子育て支援センターで実施する育児相談等について、圏域住民が相互に利用できるようにするとともに、圏域住民に適切な利用と普及啓発を行う。また、子育て支援センター間での連携を図るため、勉強会・情報交換会などを開催する。	4,595	4,595	4,595	4,595	4,595	4,595	22,975
金山町	1-2-(2)			3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500
最上町	1-2-(2)									
舟形町	1-2-(2)			4,725	4,725	4,725	4,725	4,725	4,725	23,625
真室川町	1-2-(2)			6,495	6,495	6,495	6,495	6,495	6,495	32,475
大蔵村	1-2-(2)									
鮭川村	1-2-(2)			600	600	600	600	600	600	3,000
戸沢村	1-2-(2)			5,212	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
計				25,127	21,215	21,215	21,215	21,215	21,215	106,075

ウ 子どもの遊び場の確保

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	わらすこ広場の広域 利用	新庄市で設置する屋内型遊び場 「わらすこ広場」を圏域中心の遊 び場として位置づけ、施設の利便 性の向上と環境整備を進め、広 域利用を図る。	24,516	24,516	24,516	24,516	24,516	24,516	122,580
金山町	1-2-(3)									
最上町	1-2-(3)									
舟形町	1-2-(3)									
真室川町	1-2-(3)									
大蔵村	1-2-(3)									
鮭川村	1-2-(3)									
戸沢村	1-2-(3)									
計				24,516	24,516	24,516	24,516	24,516	24,516	122,580

エ 地域子ども・子育て支援

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	ファミリーサポートセンター支援事業	圏域住民に対する子育て支援の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業について、広域利用の推進を図る。	4,760	4,760	4,760	6,760	5,760	5,760	27,800
金山町	1-2-(4)									
最上町	1-2-(4)									
舟形町	1-2-(4)									
真室川町	1-2-(4)									
大蔵村	1-2-(4)									
鮭川村	1-2-(4)									
戸沢村	1-2-(4)									
計				4,760	4,760	4,760	6,760	5,760	5,760	27,800

③ 教育

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
52,429	53,249	53,791	58,935	51,995	46,867	264,837

ア 教育関係者に対する合同研修

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	特別支援教育に係る指導者育成のための合同研修事業	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するため、特別支援教育に係る研修会を実施し、教職員等の指導力向上を図る。	15	15	15	15	15	15	75
最上町	1-3-(1)			15	15	15	15	15	15	75
舟形町	1-3-(1)			15	15	15	15	15	15	75
真室川町	1-3-(1)			15	15	15	15	15	15	75
大蔵村	1-3-(1)			15	15	15	15	15	15	75
戸沢村	1-3-(1)			15	15	15	15	15	15	75
計				90	90	90	90	90	90	450

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	教育研究センター 運営事業	社会環境の変化に応じたより適切な教育の実践に向け、圏域内の教育関係職員への指導及び研修体制の充実、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究を推進するため、最上広域市町村圏事務組合に教育研究センターを設置する。	24,254	24,667	24,941	27,535	24,035	23,970	125,148
金山町	1-3-(1)			3,661	3,723	3,764	4,156	3,628	3,618	18,889
最上町	1-3-(1)			5,613	5,707	5,772	6,372	5,562	547	23,960
舟形町	1-3-(1)			3,381	3,439	3,477	3,838	3,350	3,341	17,445
真室川町	1-3-(1)			4,305	4,379	4,427	4,888	4,266	4,255	22,215
大蔵村	1-3-(1)			2,260	2,299	2,324	2,566	2,240	2,234	11,663
鮭川村	1-3-(1)			2,260	2,299	2,324	2,566	2,240	2,234	11,663
戸沢村	1-3-(1)			2,353	2,394	2,420	2,672	2,332	2,326	12,144
計				48,087	48,907	49,449	54,593	47,653	42,525	243,127

イ 文化・芸術鑑賞等の機会の提供

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	児童・生徒に対する演劇・音楽等合同鑑賞事業	児童・生徒に対する優良な文化・芸術鑑賞の機会を提供するため、市町村合同での鑑賞会を開催する。合同で開催することにより、優良な出演者、鑑賞数を確保し、学年別に適じた鑑賞内容を設定して実施する。	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500
金山町	1-3-(2)									
舟形町	1-3-(2)			375	375	375	375	375	1,875	
大蔵村	1-3-(2)									
鮭川村	1-3-(2)			242	242	242	242	242	1,210	
戸沢村	1-3-(2)			135	135	135	135	135	675	
計				4,252	4,252	4,252	4,252	4,252	4,252	21,260

④ 産業振興

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
8,862	8,862	8,862	8,862	8,862	8,862	44,310

ア 企業誘致

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	新庄中核工業団地企業誘致促進事業	圏域の中心的な就業場所となる「新庄中核工業団地」への企業を誘致するため、新庄中核工業団地企業誘致促進協議会を組織し、圏域内の行政、企業、各種団体が一体となった企業誘致活動を展開する。	585	585	585	585	585	585	2,925
金山町	1-4-(1)			80	80	80	80	80	80	400
最上町	1-4-(1)			121	121	121	121	121	121	605
舟形町	1-4-(1)			77	77	77	77	77	77	385
真室川町	1-4-(1)			116	116	116	116	116	116	580
大蔵村	1-4-(1)			54	54	54	54	54	54	270
鮭川村	1-4-(1)			64	64	64	64	64	64	320
戸沢村	1-4-(1)			70	70	70	70	70	70	350
計				1,167	1,167	1,167	1,167	1,167	1,167	5,835

イ 広域観光

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	最上広域観光事業	県(事務局)や関係団体を交えた最上地域観光協議会を組織し、圏域全体としての広域観光会議を開催し、圏域の観光施策の企画検討を行い、効果的な広域観光を推進する。	2,280	2,280	2,280	2,280	2,280	2,280	11,400
金山町	1-4-(2)			653	653	653	653	653	653	3,265
最上町	1-4-(2)			1,208	1,208	1,208	1,208	1,208	1,208	6,040
舟形町	1-4-(2)			758	758	758	758	758	758	3,790
真室川町	1-4-(2)			743	743	743	743	743	743	3,715
大蔵村	1-4-(2)			506	506	506	506	506	506	2,530
鮭川村	1-4-(2)			546	546	546	546	546	546	2,730
戸沢村	1-4-(2)			911	911	911	911	911	911	4,555
計				7,605	7,605	7,605	7,605	7,605	7,605	38,025

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	陸羽東西線利用促進 事業	JR陸羽東西線沿線の市町村に おいて陸羽東西線利用推進協議 会を組織し、利活用の促進による 庄内地域、宮城県大崎地域との 交流の活発化を推進する。	28	28	28	28	28	28	140
金山町	1-4-(2)			6	6	6	6	6	6	30
最上町	1-4-(2)			14	14	14	14	14	14	70
舟形町	1-4-(2)			12	12	12	12	12	12	60
真室川町	1-4-(2)			6	6	6	6	6	6	30
大蔵村	1-4-(2)			6	6	6	6	6	6	30
鮭川村	1-4-(2)			6	6	6	6	6	6	30
戸沢村	1-4-(2)			12	12	12	12	12	12	60
計				90	90	90	90	90	90	450

ウ 6次産業化の推進

6次産業化の推進				事業費見込み(単位:千円)						
市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	地域6次産業推進 事業	6次産業化については、市町村単位で取り組みがなされ、独自のブランドを生み出している市町村もある。市町村それぞれの取り組みを活かしつつ、6次産業化のさらなる振興に繋ぐため、検討会を設置して連携を図ること得られる付加価値と効果を生み出していく。							
金山町	1-4-(3)									
最上町	1-4-(3)									
舟形町	1-4-(3)									
真室川町	1-4-(3)									
大蔵村	1-4-(3)									
鮭川村	1-4-(3)									
戸沢村	1-4-(3)									
計										

エ 特産品を活用した「食」による地域活性化

エ 特産品を活用した「食」による地域活性化										
市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	地域農産物販売促進事業	地場産品の販売について生産者との連携強化や情報発信を行うとともに、地産地消のネットワークを構築し、地場産品の普及啓発、消費拡大、販売促進等を図る。							
金山町	1-4-(4)									
最上町	1-4-(4)									
舟形町	1-4-(4)									
真室川町	1-4-(4)									
大蔵村	1-4-(4)									
鮭川村	1-4-(4)									
戸沢村	1-4-(4)									
計										

⑤ 生活・環境

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
1,047,729	1,118,511	1,129,630	1,128,102	1,146,810	1,108,455	5,631,508

ア 斎場施設の共同管理・相互利用

火葬場施設の利用管理・相互利用				事業費見込み(単位:千円)						
市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	火葬場の相互利用	圏域内の斎場施設を、故障時や災害時等の際には、各施設の設置市町村の住民と圏域内市町村の住民が同一の条件で利用可能とする。また、火葬場の相互利用を促進するため、圏域内火葬場の施設や環境を整備する。							
金山町	1-5-(1)									
最上町	1-5-(1)									
舟形町	1-5-(1)									
真室川町	1-5-(1)									
大蔵村	1-5-(1)									
鮭川村										
戸沢村	1-5-(1)									
計										

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	火葬場の共同管理 検討事業	各市町村で設置している斎 場施設の管理運営を将来的 に広域的に実施するため、 更新時期等に合わせて、共 同管理の検討を進める。							
金山町	1-5-(1)									
最上町	1-5-(1)									
舟形町	1-5-(1)									
真室川町	1-5-(1)									
大蔵村	1-5-(1)									
鮭川村	1-5-(1)									
戸沢村	1-5-(1)									
計										

イ ごみ減量化・再資源化の推進

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	ごみ減量化・再資源化検討事業	ごみ減量化や再資源化の推進に向けた住民への周知を図るとともに、圏域内での更なる減量化・再資源化を進めるため、国の「プラスチック資源循環戦略」を受けた廃プラスチック類のリサイクルやごみの分別方法の統一、収集運搬の連携に向けた検討を行う。	2,131	2,131	2,131	2,131	2,131	2,131	10,655
金山町	1-5-(2)			120	120	120	120	120	600	
最上町	1-5-(2)			191	191	191	191	191	955	
舟形町	1-5-(2)			118	118	118	118	118	590	
真室川町	1-5-(2)			402	402	402	402	402	2,010	
大蔵村	1-5-(2)			74	74	74	74	74	370	
鮭川村	1-5-(2)			89	89	89	89	89	445	
戸沢村	1-5-(2)			112	112	112	112	112	560	
計				3,237	3,237	3,237	3,237	3,237	3,237	16,185

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要		事業費見込み(単位:千円)					
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	ごみ処理施設の共同 運営事業	圏域におけるごみ処理業務を共同で実施するため、最上広域市町村圏事務組合にごみ処理施設を設置し、管理運営を共同処理する。また、ごみの減量化・再資源化を推進しながら、施設の長寿命化に向けた変更計画の策定と、計画に伴う基幹的設備改良事業を実施し、施設の延命化を図っていく。	402,029	423,007	417,422	416,152	424,580	400,926	2,082,087
金山町	1-5-(2)			67,961	75,643	78,000	77,771	79,735	76,782	387,931
最上町	1-5-(2)			108,344	119,611	123,189	122,862	125,064	121,559	612,285
舟形町	1-5-(2)			65,654	71,857	73,956	73,780	74,927	72,959	367,479
真室川町	1-5-(2)			103,079	113,531	116,859	116,560	118,586	115,401	580,937
大蔵村	1-5-(2)			40,063	43,879	45,163	45,054	45,765	44,667	224,528
鮭川村	1-5-(2)			46,223	50,776	52,317	52,184	53,039	51,691	260,007
戸沢村	1-5-(2)			52,738	57,782	59,501	59,356	60,288	58,835	295,762
計				886,091	956,086	966,407	963,719	981,984	942,820	4,811,016

ウ 下水道施設の共同管理

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	下水処理施設共同管理事業	最上圏域下水道共同管理協議会を組織し、下水道終末処理場の事務(終末処理場の水質試験に関する事務、終末処理場の運転監視及び保守点検に関する事務)を共同で管理、執行する。	81,501	81,908	82,318	82,730	83,143	83,559	413,658
金山町	1-5-(3)			13,272	13,338	13,405	13,472	13,539	13,607	67,361
最上町	1-5-(3)			13,987	14,056	14,127	14,197	14,268	14,340	70,988
舟形町	1-5-(3)			12,961	13,025	13,090	13,516	13,222	13,288	66,141
真室川町	1-5-(3)			12,782	12,845	12,910	12,974	13,039	13,104	64,872
大蔵村	1-5-(3)			11,759	11,817	11,876	11,936	11,995	12,055	59,679
戸沢村	1-5-(3)			12,139	12,199	12,260	12,321	12,383	12,445	61,608
計				158,401	159,188	159,986	161,146	161,589	162,398	804,307

エ 水道事業の広域連携

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	水道事業共同管理運営事業	新庄最上地区水道協議会の組織において、水道事業の業務系(業務システム(公会計・料金・財務))に関する事務、水道事業の維持管理(メーター器購入・薬品購入・施設や設備の保守点検・水道台帳システム・包括的な業務委託)に関する事務など広域連携の検討を行い、実施可能なものから共同で管理、運営を行う。							
金山町	1-5-(4)									
最上町	1-5-(4)									
舟形町	1-5-(4)									
真室川町	1-5-(4)									
大蔵村	1-5-(4)									
鮭川村	1-5-(3)									
戸沢村	1-5-(4)									
計										

(2) 結びつきやネットワークの強化

① 地域公共交通

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
48,200	48,200	48,200	48,200	48,200	48,200	241,000

ア コミュニティバス等の運行

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	コミュニティバス運行	通勤や通学の利便性を高めるため、近隣町村と中心市を結ぶコミュニティバスの運行を行う。	50	50	50	50	50	50	250
鮭川村	2-1-(1)	事業(鮭川村営バス)		11,850	11,850	11,850	11,850	11,850	11,850	59,250
計				11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	59,500

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	－	コミュニティバス運行 事業(大蔵村営バス)	通勤や通学の利便性を高めるため、 近隣町村と中心市を結ぶコミュニティバスの運行を行う。	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
大蔵村	2-1-(1)			34,300	34,300	34,300	34,300	34,300	34,300	171,500
計				36,300	36,300	36,300	36,300	36,300	36,300	181,500

② 道路等の交通インフラの整備

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500

ア 道路の除排雪

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	道路除雪の代行除雪	市町村間を結ぶ道路の一部について、中心市が隣接する近隣町村の道路の除雪を代行して行う。							
大蔵村	2-2-(1)			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
計				1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500

③ 地域内外の住民との交流・移住促進

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000

ア 結婚活動支援

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	結婚活動支援事業	最上広域婚活実行委員会を組織し、結婚を希望する未婚男女の出会いの場を創出するため、各種イベント、講座等を開催する。	354	354	354	354	354	354	1,770
金山町	2-1-(1)			90	90	90	90	90	90	450
最上町	2-1-(1)			122	122	122	122	122	122	610
舟形町	2-1-(1)			87	87	87	87	87	87	435
真室川町	2-1-(1)			119	119	119	119	119	119	595
大蔵村	2-3-(1)			69	69	69	69	69	69	345
鮭川村	2-2-(1)			77	77	77	77	77	77	385
戸沢村	2-1-(1)			82	82	82	82	82	82	410
計				1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000

イ 交流の促進

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	地域おこし協力隊交 流事業	地域おこし協力隊に採用された者の経験や都会からの目線での、新たな地域資源の発見や観光資源等の素材の活用が一層充実されるよう、圏域に在住する地域おこし協力隊による情報交換会を開催する。							
金山町	2-1-(2)									
最上町	2-1-(2)									
舟形町	2-1-(2)									
真室川町	2-1-(2)									
大蔵村	2-3-(2)									
鮭川村	2-2-(2)									
戸沢村	2-1-(2)									
計										

(3) 圏域マネジメント能力の強化

① 圏域内市町村職員の交流等

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
551	551	551	551	551	551	2,753

ア 職員合同研修

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	職員合同研修事業	圏域内市町村が共通する課題に対応できる職員を育成するため、専門家等を講師として招へいた、職員合同研修を行う。	91	91	91	91	91	91	455
金山町	3-1-(1)			62	62	62	62	62	62	310
最上町	3-1-(1)			68	68	68	68	68	68	340
舟形町	3-1-(1)			64	64	64	64	64	64	320
真室川町	3-1-(1)			67	67	67	67	67	67	335
大蔵村	3-1-(1)			68	68	68	68	68	68	340
鮭川村	3-1-(1)			68	68	68	68	68	68	340
戸沢村	3-1-(1)			62	62	62	62	62	62	310
計				550	550	550	550	550	550	2,750

② 情報の共有・発信

R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
5	5	5	5	5	5	25

ア 圏域住民への情報の提供

市町村	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市	-	統一テーマによる広報事業	圏域内イベントの情報、共通課題などに関し、内容や時期を合わせて広報活動を行う。	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	7.5
金山町	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
最上町	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
舟形町	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
真室川町	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
大蔵村	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
鮭川村	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
戸沢村	3-2-(1)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5
計				5	5	5	5	5	5	25

■ 共生ビジョン連携事業合計

市町村				事業費見込み(単位:千円)						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	5年計
新庄市				594,115	615,978	611,077	581,813	586,154	562,851	2,957,871
金山町				89,947	97,757	100,222	100,452	101,955	99,060	499,444
最上町				129,810	141,240	144,954	145,297	146,760	138,312	716,561
舟形町				88,336	94,661	96,863	97,474	97,839	95,928	482,763
真室川町				128,539	139,128	142,569	142,795	144,264	141,133	709,887
大蔵村				90,795	94,708	96,076	96,269	96,713	95,669	479,433
鮭川村				62,121	66,713	68,279	68,388	68,917	67,563	339,858
戸沢村				73,943	75,176	76,982	77,150	77,804	76,407	383,517
計				1,257,602	1,325,357	1,337,018	1,309,634	1,320,402	1,276,919	6,569,330